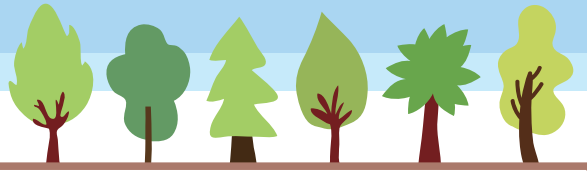


美しい森林づくり



国民参加の森林づくり支援 と森林環境教育について

岩手南部森林管理署

当署は岩手県の西南部に位置し、西には焼石岳、和賀岳、栗駒岳等の高山が連なる奥羽山脈が位置しています。また、温泉、渓谷など豊富な観光資源にも恵まれています。

こうしたことから、これらフィールドを活用した多様な要望があり、国民参加の森林づくりと森林環境教育等に積極的に支援・協力している取組の一部を紹介いたします。

1. 「星めぐりの森」植樹活動（西和賀町沢内長橋国有林）

西和賀町の「カタクリの会」は、遊々の森の協定を締結している「星めぐりの森」において、広葉樹の植樹活動を行っています。

場所は国有林内の未利用牧草地で、かつての豊かな森を蘇らせるため今年で7年目の活動になります。昨年10月



飼育頭数の減少による未利用牧草地での植樹



トヨタグループをはじめ県内外から100名が参加

の植樹活動では、遊々の森の中で採取したドングリやトチの実などをポットで育てた苗木を、参加者全員で植樹した後、木の実採取・苗づくり、森の中を散策し自然観察会も行いました。参加者は普段はあたりまえのように思ってきた里山の存在、そしていろいろな感動を与えてくれた森づくりの一日に大満足の様子でした。

2. 「ホームマックの森」植樹活動（奥州市胆沢区前川山国有林）

奥州市胆沢区にある「ホームマックの森」は、企業のCSR（社会的責任）活動等を目的に「社会貢献の森」として協定が締結されています。

毎年、地元園児とホームマック各支店の従業員が植樹活動を行っています。植樹する苗木は、事前に園児が作った紙製苗ポット（カミネッコン）で育て



親子で楽しく参加



カミネッコンを利用し植付け

たもので、今年は5月の好天に恵まれた焼石連峰の麓で奥州市立小山幼稚園を含め約50名の参加者が植樹活動を行いました。現地は、平成25年に完成した胆沢ダムの原石山跡地で、自然林再生・森づくり活動を通じ地域環境への貢献を目的に植樹を行っており、協定面積の拡大も視野に入れ今後とも活動を続けることとしています。

3. 「古事の森」育成事業（奥州市衣川区月山国有林）

平泉町には、国有林をフィールドに中尊寺など歴史的建造物の修復に必要な大径材を育てる森づくりを目的に「木の文化を支える森づくり」の協定を締結した「古事の森」があり、その育成事業を行っています。事前学習として、地元教育委員会、ユネスコ協会

等が構成員となった育成協議会と連携し、地元小学校4校で古事の森についての出前講座を実施し、その後、当署職員が講師となった育樹作業や森林教室を行い、ふるさとの森林を大切にするという意識醸成のための取り組みを行っています。昨年10月の実施日は、あいにく雨天となったため体育館内で実施し、木の葉・木の実の種類、木の香りなどの体験学習と丸太切り体験を行いました。



木の実の種類を学習



出前講座の様子

当署では、このほか5箇所の国民参加の森づくりの協定締結箇所があり、今後もフィールドの提供、及び森林づくりを通じた森林環境教育の取組に対し、積極的に協力・支援を実施することとし、その取組内容を検証、充実させ効果的に発信していくこととしています。